

第19号 緑高 SSH

SSH
Super Science High School

後期のイベント
紹介号なり～



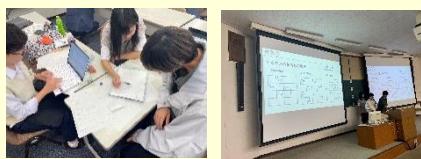
2025年3月13日

第68回日本学生科学賞神奈川県作品展

10月11日(金)～10月15日(火) 上記のイベントでポスター発表をしました。3年生の「緑の探究Ⅲ」で研究発表された内容をブラッシュアップしたポスター「特定条件下における反パスカル的三角形は何段まであるのか?」と、夏に行った五色沼スタディツアーコンテンツをまとめたポスター「五色沼の色の秘密を探求する2024」の2つです。自ら課題を見つけ、手法を考え研究し、まとめるということは、大変なことだったと思います。このポスターを作製したことをきっかけに色々なことにチャレンジできると良いと思います。

MATH キャンプ(10月13日～14日)

東京理科大学野田キャンパスセミナーハウスで「MATH キャンプ」に本校生徒3名が参加しました。参加生徒は皆1年生であり、他県の高校生とともに数学に関する探究をゼミ形式で行いました。また、他校の先生や大学教授からアドバイスをもらい、探究について発見が得られました。



「世界津波の日」2024 高校生サミット in 熊本 (10月23日～24日)

「ふくしま学宿」に参加した3名が参加しました。福島での学びをベースに、「創造的復興」というテーマで英語プレゼンを行い、日本全国と国外43カ国から集った高校生たちと英語でディスカッションを行いました。難しいテーマに加えて、英語でのコミュニケーションに苦戦しつつも、災害や復興について議論を尽しました。

世界の高校生から多くの刺激を受けた2日間でした。



第6回東京工科大学主催 サステナブル工学研究会(11月30日)

夏に実施した五色沼スタディツアーコンテンツをまとめたものを発表し、優秀賞を受賞しました。大学教授や大学院生に質問やアドバイスをいただきたり、同じSSHの高校生とも交流し、「ここに何を調べたか、題名をつけたほうが良いのではないか?」「ほかの種類のいらないお米で試すか?」など意見交換したりすることができました。

この発表会を経てさらに良い探究活動を目指します。



タイ北部スタディツアーセミナー(12月24日～31日)

タイ北部スタディツアーセミナーに12名が参加しました。事前学習で関心が高まっていたのもありますが、実際に会って、体験して、考えたことで大きな変容を遂げたと思います。冷たいシャワーや自分で流すトイレ、クセがすごい食べ物は、初めての人には衝撃的かもしれません。しかしその経験が広い視野、価値観を持つきっかけとなります。今後の人生においてこの経験は確実に生徒の糧となりました。

「3.11 メモリアル “Re-Dit” ミーティング」 (1月31日～2月1日)

宮城県多賀城高等学校の主催する防災・減災を考える1泊2日のイベントで熊本サミットに続き、「ふくしま学宿」に参加した3名がポスターセッションに参加しました。「東日本大震災は本当に終わったのか」というテーマで発表し、多くの質疑をもらい、活発な議論が繰り広げられていました。熊本と多賀城での経験と学びを活かし、今後も震災について考え続けたいと思います。

